

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育広報部

申第2・3・4号 職場環境要求について交渉を行う!

2月24日、申第4号「京浜東北・根岸線及び横浜線の乗務員基地再編成」におけるダイヤ改正及び職場環境要求に関する申し入れ、申第2号「2016年ダイヤ改正」に伴う職場環境要求に関する申し入れ（鶴見線営業所・矢向車掌区・中原電車区）。また2月27日、申第3号「2016年ダイヤ改正」に伴う職場環境要求に関する申し入れ（大船運輸区・国府津運輸区）団体交渉を行いました。

組合からは「申第4号の申し入れについて、二回に分けての交渉となるなど、会社はどのように考えているのか」と今迄にない対応に、会社は「一つの申し入れには一つの回答・交渉であるとは考えてはいるが、そのようにならない場合もある。今後も真摯な議論を行っていききたい」と歯切れの悪い回答となりました。

職場を担う社員・組合員が苦勞しないために、早期の提案・団体交渉を行なうように、さらに強く訴えています。

申第4号交渉要旨 横浜運輸区・相模原運輸区で発生をしたカビ被害について

組合：「職場に乾燥設備もなく、ロッカールームや寝室にぬれタオルを干さなければならない。カビが生えるのは必然ではないか」

会社：「現在専門の業者へ調査依頼を行っているそれを受けて最終的に発生させないよう対策を講じていきたい」

申第2号交渉要旨 鶴見線営業所

以前より申し入れを行ってきた「弁天橋駅乗継詰所の早急な異臭対策及び建て替え」について

会社：「何時付で竣工とはいえないが、駅舎を含めて建て替えを検討している」

との回答を勝ち取ることが出来ました。

申第3号交渉要旨 上野東京ライン共通

組合：「E231系とE233系の混み運用時の衝動が大きい。車両の重量が違うからではない。今後E231系とE233系の車種別での運用はできないか」

会社：「10数パターンで調査して、最適なものを導入してきた。重さの認識はない。声は多くはないが、今後も調査はしていく。車種別での運用は考えていない」

**安全と働きやすさを求め、全社員が一丸となり、
ダイヤ改正の検証を行っていきましょう!**